

宇陀市立病院広報誌
SASAERU

優しさ、思いやり、温もりの心で
患者様に寄り添う医療現場に。

Vol.

09

2022
winter

冬

ささえる



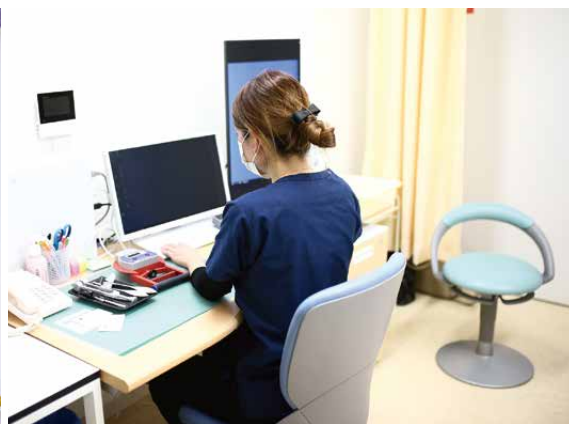
contents

- 01 特集コーナー もの忘れ外来について
- 03 地域医療部について
- 05 連載コーナー 地域連携課
- 06 新任医師紹介

宇陀市立病院
UDA CITY HOSPITAL

特集
コーナー

もの忘れ外来について



もの忘れ外来について

もの忘れ外来を開設します

高齢化がすすむ中で多様なニーズに対応するため、もの忘れ外来を開設することに致しました。脳神経内科の専門性を生かして、もの忘れ症状でお困りの、宇陀市にお住まいの患者さんについて、認知症の診断を行うことを目的とします。宇陀市医療介護あんしんセンターとスムーズに連携し、介護サービスの提供へつなぐことを目指します。認知症は、最も多い神経疾患の一つであり、早期発見は症状進行の予防や、今後を見据えた対応を可能にします。もの忘れ外来の診療は完全予約制です。電話で必ず予約をして受診してください。精神症状を伴う進行した認知症の場合は、当科での診療対応不可能な場合があり、他診療科をご紹介させて頂く場合がありますのでご了承ください。予約確定後、問診票を郵送致します。受診前に必要事項を記入して当日病院へ持参してください。かかりつけ医療機関のある場合は、診療情報提供書(紹介状)を必ずお持ちください。もの忘れ外来は、診断と治療導入のための専門外来となります。原則的に当科受診後は、かかりつけ医療機関で診療の継続をお願いするようになります。かかりつけ医療機関のない場合は、ご自宅近くの医療機関をご紹介致します。

診察内容

●もの忘れ外来

- ①もの忘れの症状が気になる
- ②認知症ではないかと心配
- ③治療法や今後の方針の相談 など

●神経電気生理検査/脳ドック

●身障診断/年金診断 など

診察日及び予約方法

- もの忘れ外来の診察日は、**月曜/火曜の午前/午後**に診察を行っております。
- 予約方法については、事前予約制となりますので、受診希望の場合は、**宇陀市立病院(TEL:0745-82-0381)**までお電話いただき、「もの忘れ外来の受診希望」とお伝えください。
- 予約の受付時間は、13時~16時です。(土・日・祝日などは除く。)



診察日 / 毎週月曜日および火曜日の午前/午後(休診日を除く)
 予約及び問合先電話番号 / 0745-82-0381
 受付時間 / 土・日・祝日を除く午後1時から4時





プロフィール

脳神経内科 医師 塩田 智

日本神経学会認定神経内科専門医

塩田先生インタビュー

もの忘れ自体は加齢とともに誰しも起こる自然なものです。もの忘れ外来では、その症状が加齢に伴うものなのか、認知症や他の病気によるものなのかを診察します。もの忘れというよくアルツハイマー病を想像される方が多いと思いますが、脳梗塞や脳腫瘍などの脳の病気や糖尿病などの内臓の病気から似たような症状が生じる場合もあります。原因を特定し、それぞれの方に合った治療をします。

脳神経内科で取り扱う病気

●頭痛

慢性頭痛は大きく片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛に分けられます。頭痛は、ありふれた症状ですが、日常生活に支障をきたす事が少なくありません。最近では片頭痛を中心に新たな治療法が開発されつつあり、痛みをコントロールできる方も多くなっています。また、重大な脳の病気が隠れている可能性もあります。頭痛でお悩みの方は一度脳神経内科を受診してみられることをおすすめします。

- パーキンソン病
- 脊髄小脳変性症
- 認知症
- 筋萎縮性側索硬化症など
- 脳血管障害
- てんかん
- 炎症性疾患：脳炎、髄膜炎など
- 筋疾患：筋炎、筋ジストロフィーなど

【どんな診察をするのですか？】

もの忘れ外来ではまずご予約いただいた後、ご自宅に問診票をお送りします。記入済みのもを初診のときにお持ちいただいて、そちらをもとに診察をはじめます。問診票は10枚と多いのですが、ご本人だけでなく、普段の生活をよく知るご家族の方も一緒にご記入いただきたいと思います。

初診では、認知機能検査といって、15分程度の受け答えをしていただきます。またフレイルチェックという身体機能の検査もします。身体機能が落ちると記憶障害になりやすいのです。握力、足の太さ、歩行速度を測って筋量が落ちていないか確認します。

脳の病気が要因と考えられる場合もありますので、頭のMRIを撮ったり、器具を使って麻痺や感覚障害がないか調べます。内臓系の病気が要因と考えられる場合は、血液検査を行い確認します。脳の病気や内臓の病気がない患者さんに対しては、進行を遅らせるお薬を処方します。このように似たような症状でも、原因はさまざまあります。

【来院する目安はありますか？】

もの忘れ外来は、ある程度認知症が進行している方だけではなく、ご自身で「なんかおかしい」「最近忘れっぽいかも？」と思ったり、ご家族の方が「最近少し性格が変わったかな？」などと気づかれたときにお気軽に来て頂けたらと思っています。やはり早期発見が大事です。例えば、脳腫瘍がある場合、置いておくと大きくなったりもします。またアルツハイマー病は最も一般的な認知症の病気ですが、進行を遅らせるお薬を処方するというのが、治療のメインとなります。ある程度症状が進んでからだと、薬の効果も得られにくくなります。治療のスタートが早いと、その分機能維持に繋がります。認知症の症状は急激には進みません。ただ、ゆっくり進行するだけに様子を見ようと思っているうちに、気づけばかなり時間が経過していた、ということがよくあります。本人もご家族もつい先延ばしにしてしまいがちですので、ぜひ早期にお越しいただければと思います。

そして診察の際はできれば家族の方も一緒に来ていただきたいです。患者さんは意外と診察室ではしっかり気を張っていて、一番良いところを見せようとします。でもそれだと実態が掴みにくい。ご家族から「本当はこうなんです」というのを教えて頂くと色々な角度からお話を聞けて、診断に役立ちます。またやはりご家族との接し方で普段のご様子も見え、症状が現れることもあります。

【さいごに】

今後、ますます患者さんが増えることが予想されます。現在は医師2名体制で予約可能枠も増えています。宇陀市に住んでいる認知症患者さんの特徴を見極めて、より地域に沿った認知症予防の指導・アプローチをしていけたらと思います。



地域医療部

宇陀市立病院の地域医療部は奈良県立医科大学から総合診療医の派遣を受けて、令和元年に開設されました。

さて、小規模病院と総合診療医には強い親和性があります。病床数176の宇陀市立病院は奈良県内の公的な急性期病院の中で、最も小規模です。宇陀市民の皆様からは、専門科診療のご要望があろうかと存じます。現実的には、小規模病院にすべての専門科医師を常勤配置することができません。仮に全科医師を一人ずつそろえたとしても、医師一人で大手術は不可能ですし、また一人の医師が年間365日勤務もできません。結局のところ、広範囲の健康問題に対応する医師チームが、小規模病院では特に必要となります。

総合診療医の守備範囲は広く、特定健診(バス)や予防接種などの健康づくり業務、禁煙外来、災害派遣医療チームなどを担当しています。日常は広範囲の健康問題に取り組みつつ、状況によって業務を変化させる総合診療医は、宇陀市において不可欠となりました。新型コロナ対応も、実は総合診療医が病院内の陣頭指揮を執らせていただいております。



病院診療、移動診療の充実

令和元年10月に医師3人体制で「地域医療部」を開設しました。室生地区の診療所配属を加えると、現在は医師5人体制になっています。



宇陀地区医師会からもご理解をいただき、まずは訪問診療(上左写真)を開始しました。複数医師チームによる訪問診療の質を担保するため、ITで情報共有しつつ、病院外の関係者も交えて週1回の検討会(下写真)を開催しています。訪問診療の患者さんが入院した場合には、病棟看護師とも密接な連携(上右写真)をしています。

令和4年5月には移動診療車を運用開始しました。X線撮影装置を備えた移動診療車は、おそらく日本初です。見方を変えれば、国内で試みられたことがない困難な事業とも言えます。広い市域に集落が点在する宇陀市にとって、貴重な戦力となります。一般診療のみならず、健診事業や予防接種、発熱外来など、すでに積極的な活用を開始しています。常設診療所にはない機動性を生かして、今後も医療活動を展開してまいります。

移動診療車だけが充実しても、宇陀市民の付託に応えられません。病院診療、移動診療車の両方を充実させ、「宇陀に住んでよかった」と市民の皆様にも思ってもらえるよう、健康と安心、そして幸せをお届けしてまいります。



市民の皆様に寄り添えるように

令和元年10月に奈良県立医科大学の総合診療科から医師2名が派遣され、私と合わせて3名で地域医療部が始動しました。この3年間、訪問診療を中心に業務展開してきました。視野が広がり、病院外の景色が

見えるようになった印象があります。

以前の病院では外来診察や入院治療のみを提供し、退院後の様子はわからない状況でした。訪問して継続的に診療する中で、ご家庭での日常生活や退院後のご様子も見えてくるようになりました。病院内各部署との連携も増えました。総合診療医は現代医学のみならず、相互尊重や多職種連携も学びます。病院外の各機関から、市立病院の風通しがよくなったとお声をいただけるのは、嬉しい限りです。

令和4年5月には移動診療車の導入がありました。現在は大宇陀地区の2か

所で運行しています。クリニックから待合室とトイレを省き、エンジンとタイヤを装着したイメージです。公民館に横付けして診療を行っています。積極的な運用の結果、地域の医療需要にお応えしていると実感します。注目度が高く、市外からの視察もあります。部門長として、身が引き締まる思いです。



地域医療部はこれまでは訪問診療や移動診療車など、病院外への取り組みを進めてまいりました。より多くの医療ニーズにお応えできるように、今後は病院本体の機能充実にも貢献してゆきたいと思っています。可能であれば、地域医療部の規模を上げたいと考えます。宇陀市立病院は市内唯一の公立病院として、しっかりと役割を全うせねばなりません。市民の方々に寄り添えるように、医師会や行政、様々な機関と連携して責任を果たし、業務を進めてまいります。

プロフィール

宇陀市立病院 副院長
松島 俊裕

趣味/登山・マラソン・スキー・シーカヤック・献血
好きな食べ物/何でも美味しく食べます。甘党です。



持続性のある地域医療の為に

地域医療部を開設したとき、宇陀市内の医療においては、診療所の数が絶対的に少ないという課題がありました。当時、閉院が3カ所続き、患者さんや周りの病院にも影響が出ている状況でした。解決策として、閉まった診療所を引き継ぐことや開院なども検討されましたが、容易ではありませんでした。

そこで浮上したのが「移動できる診療所があったら良いのでは?」というアイデアです。調べる限り、「陸上を移動する診療所」という前例はありませんでした。今後、地域ではますます過疎化・高齢化が進み、診療所をやむなく閉院されるところもあるでしょう。しかしこの方法ならその状況に対応し、目標としている「持続性のある地域医療」についても実行できます。前例がないため、色々な苦労もありましたが、市長のご賛同、医師会のご理解、奈良県立医科大学総合診療科からの増員、行政・病院含め様々なご協力や連携があって、おかげさまで実現へと至りました。

地域医療部の人数も増え、ますます今後へ繋げていける体制も整いつつあります。移動診療車、訪問診療、病院というそれぞれの特徴と役割を活かして、これからも市民の皆さんの希望に沿った医療を提供していきたいと思っています。

総合診療、家庭医療が専門分野です



地域医療部に所属する私たちは、身近なかかりつけ医として、健康に関する諸問題に幅広く対応することを専門としています。訪問診療や移動診療車でのごケアをとおして、地域の方々が健康に暮らせるよう精進いたします。

プロフィール

地域医療部医師 **佐和 明裕**
趣味/旅行・車・お酒 好きな食べ物/タイ料理

移動診療車、訪問診療、病院の役割を活かして



自宅へ訪問診療に伺い、移動診療車で外来診療を行い、病状悪化時には入院で担当させて頂きます。場所や分野を問わずに幅広く訴えに対応できるよう日々精進しております。今後ともよろしくお願いたします。

プロフィール

地域医療部医師 **阪本 宗大**
趣味/料理・剣道・キャンプ 好きな食べ物/何でも好きです!

プロフィール

地域医療部医師 **小林 正尚**

趣味/ゲーム
好きな食べ物/お好み焼き

地域連携課



皆さんの
お困りごと、
ご相談の
窓口です。

お問い合わせ先：地域連携課
Tel.0745-85-1201(直通)

地域連携課の紹介

地域連携課では地域に密着した医療を目指し活動しています。本年からは移動診療車の運用も開始し、地域医療部の医師と共に地域へ出向いています。今後も地域の医療連携強化に努めていきますのでよろしくお願いします。

移動診療車の
うだモバイルクリニック



やっぱり家がいい

病気や怪我を治す「自己治癒力」は住み慣れた環境と自分らしい生活の中で最大限に発揮されることをご存知ですか。当院では、奈良県医科大学総合医療学教室から医師派遣を受け、令和元年10月から地域医療部の開設と共に訪問診療を開始しています。訪問診療は、症状の軽重に関係なく、通院が困難な方であれば、医師がご自宅まで定期的に訪問し、体調管理を行う診療です。「病院へ行くのが辛くなった」「住み慣れた自分の家で療養したい」「自分らしく過ごしたい」そんな思いをお持ちの方の思いを大切にしています。少しでもご希望に添えるよう、地域連携課を中心として、医師会の先生方、地域の医療・介護・



福祉・保健・行政に携わる皆様と密接に連携し、住み慣れたご自宅での生活をお手伝いします。地域医療を担うチームの一員として地域住民の皆様にご安心いただける医療サービスをご提供させていただきます。当院の訪問診療をご希望される方は、お気軽に地域連携課までご相談ください。



訪問診療を
実施して
おります。

新任医師 インタビュー interview

肩まわりの診療を 得意としています。



整形外科医師
藤井 修平

プロフィール profile
出身 奈良県田原本町
趣味 オンラインゲーム
インテリア

Q: 藤井先生は以前も宇陀市立病院でご勤務されていたのですよね？

A: はい、そうです。3年ぶりに戻ってまいりました。ただ週1でずっと来ていたので、あまり久しぶりという感じではなく、職員や患者さんもお馴染みの方ばかりです。

Q: アピールポイントはありますか？

A: 整形外科医の専門医として、特に肩まわりの診療を得意としています。お困りの際はお気軽にお越しください。

Q: 患者さんと接するなかで気を付けていることや大切にされていることはありますか？

A: 例えば「足が痛い」「肩が痛い」などの理由で来院されますが、患者さん自身が本当に困っていることはなにか伺うようにしています。レントゲンやCTの画像だけ見ると手術と判断するところも、必要がなければ行いません。患者さんの全身の状態や日常生活の様子を伺って、治療方針を決めるようにしています。

Q: 患者さんに向けてメッセージをお願いします。

A: 肩が痛かったり、腕があがらないなどの症状があれば我慢しないで来てください。すぐ治るケースがほとんどです。四十肩や五十肩だと思ってそのまま放っておく人が多いのですが、放置するとその分治療も長引くことが多いです。早期に来ていただくと治療も早く終わりますよ！

市民の方にとって健康の拠り所となれるように



内科医師
藤原 遼

プロフィール profile
出身 沖縄県
趣味 キャンプ

Q: 医師になろうと思ったきっかけは何ですか？

A: 父親が製薬会社に勤めていたので、医師の話を聞く機会がよくありました。また小・中学生くらいの頃に身内の不幸が続き、そのときから人の命に携わる仕事がしたいと思うようになりました。

Q: 宇陀市立病院の雰囲気はいかがですか？

A: アットホームな雰囲気です。職員や患者さんも、皆さん温かく迎え入れてくださっていると感じています。

Q: 医師として意識していることや大切にされていることはありますか？

A: いつも謙虚でいることです。また、患者さんとは治療のことだけでなく、退院後のことを話し合う機会も多くあります。ご自身やご家族が大切にされている思いがあるのでじっくりと話しあって希望に寄り添えたらと思っています

Q: 市民の皆さんへメッセージをお願いします。

A: この病院自体が市民の方にとって健康の拠り所となっていると思います。体調が悪くなったり、困ったときは遠慮せず来ていただきたいですし、こちらも要望に応えられるように全力で応えていきたいと思っています。

外来診療日程表

初診受付及び予約外の診療受付は、午前8時から午前11時までとなっています。

休診日：土曜日・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで

令和5年1月1日現在

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 循環器内科 消化器内科	1診	久保卓	やなせ 築瀬	やなせ 築瀬	なかうえ 中上	ふくち 福智
	2診	小林	松倉	丸山	丸山	松倉
	3診		松島	藤原	前川	前川
	4診	きょうどう 経堂		林	林	林
	初診	藤原	はすみ 羽角	はった 八田	奥田	久保裕
午後	糖尿病教室 月曜日(指定日)午後2時30分～ 北館2階 栄養指導室 ペースメーカー外来 松倉(予約) 第2月曜日午後2時～3時 ワクチン外来 午後4時～4時30分	腎臓外来 午後2時～3時 丸山(予約) 禁煙外来 松島(予約制) 午後2時～				ワクチン外来 午後4時～4時30分
外科	午前	休診	担当医	担当医	休診	休診
婦人科	午前	休診	なぶち 南洲	なぶち 南洲	休診	なぶち 南洲
整形外科	1診	小泉(予約)	【肩粗鬆症外来 午前診】 仲川(予約)	仲川(予約外) (一部予約含)	小泉(予約外) (一部予約含)	仲川(予約)
	2診	森本(予約外) (一部予約含)	江川(予約外) (一部予約含)	藤井(予約)	森本(予約)	田中(予約)
	3診	島岡(予約) 第1、2、4月曜日	田中(予約外) (一部予約含)	島岡(予約外・一部予約含) 第1、2、4水曜日	門野(予約)	井上(予約外) (一部予約含)
	4診	中山(予約)	(ペインクリニック外来)	倉田(予約外) (一部予約含)	奥本(予約外) (一部予約含)	中山(予約外) (一部予約含)
	5診	西村(予約外) (一部予約含)	今中(予約外) (一部予約含)	近藤(予約) 第2水曜日	藤井(予約外) (一部予約含)	梅垣(午前)
ペイン クリニック外来	午前	休診	わたなべ 渡邊	休診	休診	休診
耳鼻 咽喉科	午前	木村 補聴器外来 第2、4回目午前中(予約)	休診	担当医	休診	かなた 金田
眼科	午前	安森	安森	安森(水澤) 診察受付は午前10時30分まで	松浦10時まで 安森10時から 診察受付は午前10時30分まで	松浦 第1金曜日 安森(丸岡) 第2、3、4、5金曜日
皮膚科	午前	宮川	篠田	休診	中川	休診
脳神経内科	午前1診	じゅうお 拾尾	じゅうお 拾尾	休診	じゅうお 拾尾	じゅうお 拾尾
	午前2診	塩田	塩田	塩田	塩田	休診
	午後	もの忘れ外来 (予約)	もの忘れ外来 (予約)	休診	休診	休診
泌尿器科	午前	夏目	夏目	夏目	夏目(新患のみ) 診察受付は午前10時まで	宮本
小児科	午前	さかうえ 坂上	おぎはら 荻原	さかうえ 坂上	さかうえ 坂上	さかうえ 坂上
	予防接種 午後1時～2時	予約制	予約制	予約制	発達相談外来 第2、4木曜日(予約制)	予約制
	午後	さかうえ 坂上	おぎはら 荻原	さかうえ 坂上	小児新型コロナワクチン予防接種 第3木曜日を除く(予約制)	さかうえ 坂上・平尾
移動診療所 (総合内科)	診療車		佐和 受付 午後1時～3時 場所 大宇陀人權交流センター	小林 受付 午前9時～11時 場所 大宇陀人權交流センター		阪本 受付 午前9時30分～11時30分 場所 田原集会所

※病院の休診日 土曜日・日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで

※小児科の予防接種の診察は、午後1時～午後2時の完全予約制となります。小児新型コロナワクチン予防接種の診察は第3木曜を除く木曜午後1時からとなります。

午後診察は、午後2時から開始します。受付は午後1時から午後4時までです。第2・第4木曜午後の発達相談外来は完全予約制で午後1時から開始します。

診察は、小児科予約システムで予約することができます。

※泌尿器科の木曜日の診察の受付は、午前10時までとなります。

※眼科の水曜日及び木曜日の診察の受付は午前10時30分までとなります。

※腎透析については、内科外来で受け付けています。

※注 表中において、例えば「第2月曜」とはその月の第2回目の月曜日、「第2・第4水曜」とはその月の第2回目・第4回目の水曜日をいいます。

宇陀市立病院 Tel. 0745-82-0381

〒633-0298 奈良県宇陀市榛原萩原815番地

<https://www.city.uda.nara.jp/udacity-hp/>